

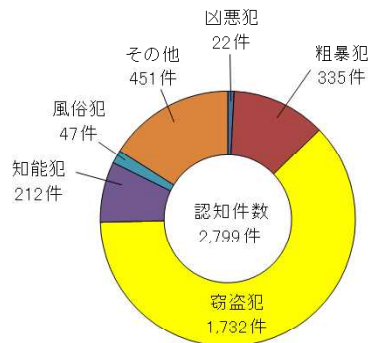
18 犯罪の情勢と捜査活動

刑法犯の認知及び検挙状況

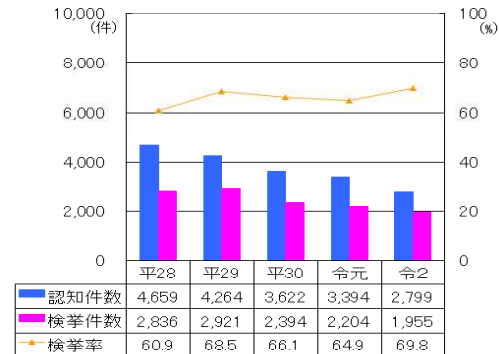
殺人、強盗、窃盗といった刑法犯の認知件数は2,799件で、前年に比べて595件減少しました。人口10万人当たりの刑法犯の認知件数を表す犯罪率は210.9件で、全国で少ない方から2番目でした。

検挙件数は1,955件、検挙率は69.8%で高い方から全国第6位でした。

なお、全国平均の検挙率は45.5%で、県内の検挙率はこれを24.3ポイント上回りました。



【刑法犯罪種別の認知件数】



【年次別刑法犯の認知・検挙件数】

●凶悪犯の状況

令和2年中の凶悪犯（殺人、強盗、放火、強制性交等）の認知数は22件で、前年に比べて3件減少しました。

凶悪犯の検挙件数は22件で、検挙率は100%です。

令和2年中に検挙した主な凶悪事件は

- ◆長崎市錦3丁目における殺人事件
- ◆長崎県内で発生した未成年者に対する誘拐事件
- ◆北松浦郡佐々町における殺人事件

等があります。

●窃盗犯の状況

令和2年中の窃盗犯の認知数は1,732件で、前年に比べて448件減少しました。

窃盗犯は、全刑法犯の61.9%を占め、一日平均約5件の割合で認知したことになります。

窃盗犯の検挙件数は1,209件で、検挙率は69.8%です。

令和2年中に検挙した主な窃盗事件は、

- ◆諫早市等において発生した貼り破りによる連続侵入窃盗（金庫破り等）事件
- ◆宗教施設・大学等を対象とした窃盗（金庫破り等）事件
- ◆建設会社等を対象とした連続侵入窃盗（事務所荒し等）事件

等があります。

●知能犯の状況

令和2年中の知能犯の認知件数は212件で、前年に比べて2件増加しました。

特殊詐欺事件については、認知件数38件（前年比+2件）、被害総額約1億1,226万円（前年比-約9,358万円）となっています。

令和2年中に検挙した主な知能犯事件は、

- ◆波佐見町職員らによる官製談合防止法違反等事件
- ◆第48回衆議院小選挙区選出議員選挙における公職選挙法違反事件
- ◆警察官等騙りの現金送付型架空料金請求詐欺未遂事件

等があります。